

マイからできる地球温暖化対策

現在、世界規模で取り組まれている地球温暖化対策。日本も温室効果ガスの排出量を、2020年までに15%削減する中期目標を発表しました。そこで、増え続けている温室効果ガスの大部分を占める二酸化炭素の排出量を、家庭や職場等で削減できる取組をシリーズで紹介します。



近年、環境に優しい生活の取組である「マイはし」や「マイバック」「マイボトル」を、外食や買い物等で持参する家族等を目にするようになりました。普段何気なく使っている割り箸や手にしているレジ袋等が、日本は外国と比べ大量に消費されていることを皆さんご存知でしょうか。

図①のように、割り箸の年間消費量は約250億本で、1人当たり年間約200本が消費されているほか、使われている割り箸の約98%は輸入されたものです。

また、レジ袋は年間300億枚使用され、そのほとんどがごみとして処分されているのが現状です。確かに割り箸やレジ袋等は手軽さと利便さから私たちの生活に欠かせないものになっていて、反面、大量生産・大量消費されているため、現在、世界規模の問題となっている地球温暖化の原因である温室効果ガスに含まれる二酸化炭素を発生させています。

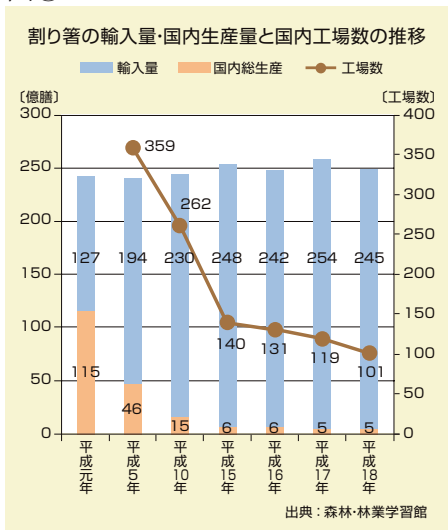
「マイボトル」等に取り組むことは、地球温暖化対策への確実な第一歩であり、限られた資源の有効活用や保護に貢献するとともに、次代を担う子どもたちの物を大事にする心を育てる良い手本となります。

まずは、家庭や職場等で気軽に素敵に始められる「マイ運動」に取り組みみましょう。

【問い合わせ】

市生活環境課
☎0994・31・1115

図①



ウミガメの中には、海面に漂うレジ袋をエサであるクラゲと間違えて飲み込み、死に至るケースもあります。そのため、レジ袋を削減することは間接的にウミガメや動物を保護することにつながります。